

令和七年
八月



令和7年度 Vol.2

第2回 学校運営協議会

第2回学校運営協議会（令和7年6月13日開催）の内容を報告します。

発行・文責：

糸島市立前原小学校 学校運営協議会委員

今回は、午前からの開催で、初めての取組として給食試食を行いました。

子どもたちの学びの様子を見学（学習参観）

校長の案内で、5年生、4年生、そして1年生の授業の様子を見学しました。教科担任制のもとで進められる授業も行われたおり、先生方の専門性を生かした授業づくりや、教材準備の効率化など、働き方改革にもつながる取組に感心しました。

また、「サポートルーム」の活用も印象的でした。これは、登校に不安のある児童が少人数で安心して学べるような環境として整えられたものです。一人一台に貸与された端末（タブレット）を使ってオンラインで教室の授業に参加している児童もあり、モニターを通じて教室とのつながりを感じられるよう工夫されていました。

ICTの活用については、タブレットの他デジタル教科書の活用も進み、視覚的な理解の助けとなっている様子に、委員の私たちも「学びの現在地」に触れることができました。

6年生とのインタビュー交流

国語科の授業「学校に関わる大人にインタビューしよう」の一環として、各委員が6年生からのインタビューを受けました。質問は、

- ・なぜその役割に就いたのか
- ・活動の中で大切にしていることは何か
- ・活動へどのような思いをもっているか

など。

子ども達に理解をしてもらうための伝える言葉選びの難しさを感じつつ、1グループ5分間という短い時間ではありましたが、地域の大人として精一杯答え、最後は子どもたちへ励ましの言葉を送りました。

真剣に話を聞き、熱心にメモを取る子どもたちの姿に、「書く力」、「聞く力」がしっかり育っていることを実感しました。



給食を囲んでの意見交換

給食の時間には、給食の試食をしながら、先生方と委員で意見交換を行いました。

本日の給食は、

ごはん／いわしの梅煮／野菜のアーモンド炒め／じゃがいもの味噌汁／牛乳

という献立。栄養バランスが取れた、心と体に優しいと感じる内容でした。

この日の魚は骨ごと食べられるよう処理されたものを使用されており、子どもたちが様々な食品に親しむための工夫が感じられました。魚に骨があることを知ってこれを除きながら食べる力も大切ですが、当日の献立では、調理の工程や献立の意図から骨ごと食べられるようなものが選択されているとのことでした。衛生面、安全面への配慮もされており、改めて学校給食の質の高さを実感しました。しかし本来、食事のとり方、食事のマナー等を身に付けるには、家庭の役割は重要です。成長期の子どもたちにとって特に重要な食事については家庭でも大切にしていきたいと思います。

また、この会議が開催された頃、世間ではSNS上での給食画像に関する話題が全国的に広がっていました。意図していることと異なることが広がったり誹謗中傷が多発したりして伝えたいことが正しく伝わらないことが起きてしまいます。様々な活動には表には表れにくい関係する人々の思いがあります。「インターネットでの伝え方」の重要性についての意見も交わされました。

地域課題についての話し合い

毎日、子どもたちを見守る立場から、交通安全に係る内容について心配する意見が出ました。

- ・横断歩道で子どもが待っていても車が停まらない
- ・車での送迎による校門前の道路の混雑（特に朝）

などです。今後は警察へ相談したり徒歩通学への協力をお願いしたりしながら、地域全体で子どもたちを守る視点が必要だと感じました。

※後日、正門前にて警察の方による交通整理が行われました。ご協力に感謝申し上げます。

◆ 最後に

運動会、遠足、授業参観など、すでにたくさんの行事を通して、子どもたちとの交流を深めることができました。今後も、学校と地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長を見守り支える場として、協議会の活動を続けてまいります。



*雨天の日、車での送迎が多く、★印付近で子どもを降ろしたり正門から出たりすると前の道路が混雑しています。前原コミュニティセンター方面に進み、😊 付近で子どもを降ろして、前原コミュニティセンター横の門から出ていただくと混雑解消につながります。御協力をお願いします。